



一部の機能が強化されました！

ConMas i-Reporter
ConMas Manager
カスタムマスター管理機能
操作説明書

Rev.1.0.2
2014.04.28
2015.08.03

改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2014-04-16	V4.0	--	初版を発行しました。
2014-04-28	V4.0	P21、P30、 P41	CustomMasterInputSheet.xlsb操作方法についての記載を追加しました。
2015-08-03	V5.0 機能強化版 その2	P33	ラベルの位置設定についての説明を追記。 

目次

➤ はじめに	P5
• カスタムマスター全体のながれ	
• Managerでのカスタムマスターの設定順序フロー	
• カスタムマスターを使用するための初期設定	
• iPadログイン時のカスタムマスター同期機能を有効にする	
• Managerでのカスタムマスターの管理権限設定	
➤ カスタムマスターの構成	P11
• カスタムマスターの構成	
• カスタムマスターのタブレット保存可否設定	
• 手動ダウンロードとiPad保持期間	
• カスタムマスターのフィールド構造	
• カスタムマスター取り込みCSVレイアウトの基本構造	
• カスタムマスター取り込みCSVレイアウト マスター行	
• カスタムマスター取り込みCSVレイアウト レコード行	
➤ カスタムマスター登録	P19
• カスタムマスターの登録・編集方法	
• 登録・編集手順 1 : EXCELファイルでのCSV作成	
• 登録・編集手順 2 : EXCELファイルからCSV出力	
• 登録・編集手順 3 : CSVのアップロード	
• 画像付のCSVを作成、アップする方法	

目次

- カスタムマスター登録 P36
 - 既存のカスタムマスターの編集の方法
 - カスタムマスターのCSVダウンロード
 - ダウンロードしたCSVをExcelに展開する

- カスタムマスターの管理 P43
 - カスタムマスターの管理
 - カスタムマスターの一覧表示
 - カスタムマスターの設定内容を確認する
 - カスタムマスターのレコード情報を確認する
 - カスタムマスターのラベル・参照権限情報を確認する
 - カスタムマスターの設定内容を変更する
 - カスタムマスターの削除
 - カスタムマスター削除の注意点

- Managerでカスタムマスター用のラベルを設定する P52
 - ラベル管理でのカスタムマスター用ラベルの設定
 - カスタムマスター用ラベルの編集
 - カスタムマスター用ラベルの参照権限設定
 - カスタムマスター一覧でのカスタムマスター用ラベルの設定
 - カスタムマスターにラベルをつける
 - カスタムマスターにラベルをつける（一覧画面）

目次

- Managerでカスタムマスター参照権限を設定する P58
 - カスタムマスター参照権限
 - カスタムマスターの参照権限設定
- ManagerでカスタムマスターのiPadへのダウンロード履歴を参照する P61
 - iPadへのダウンロード履歴を参照

はじめに

カスタムマスター設定 全体の流れ

Manager、Designer、iPad アプリでのそれぞれの役割と設定・操作は大きく以下の様な流れで行います。ここでは「①Managerでカスタムマスター情報の登録・編集」に関して説明します。

① Managerで
カスタムマスター
情報の登録・編集

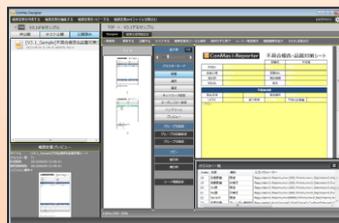
ConMas Manager



- カスタムマスター情報の登録と編集
- カスタムマスターの管理全般
- カスタムマスターの権限設定
- カスタムマスターのラベル設定

② Designerで帳票定義の
クラスターとカスタムマスター
の関連付け

ConMas Designer



- 帳票定義内クラスターへのユーザーカスタムマスター設定
- カスタムマスター設定したクラスターの親子関係の紐付け

③ iPadでカスタムマスター
の入力操作

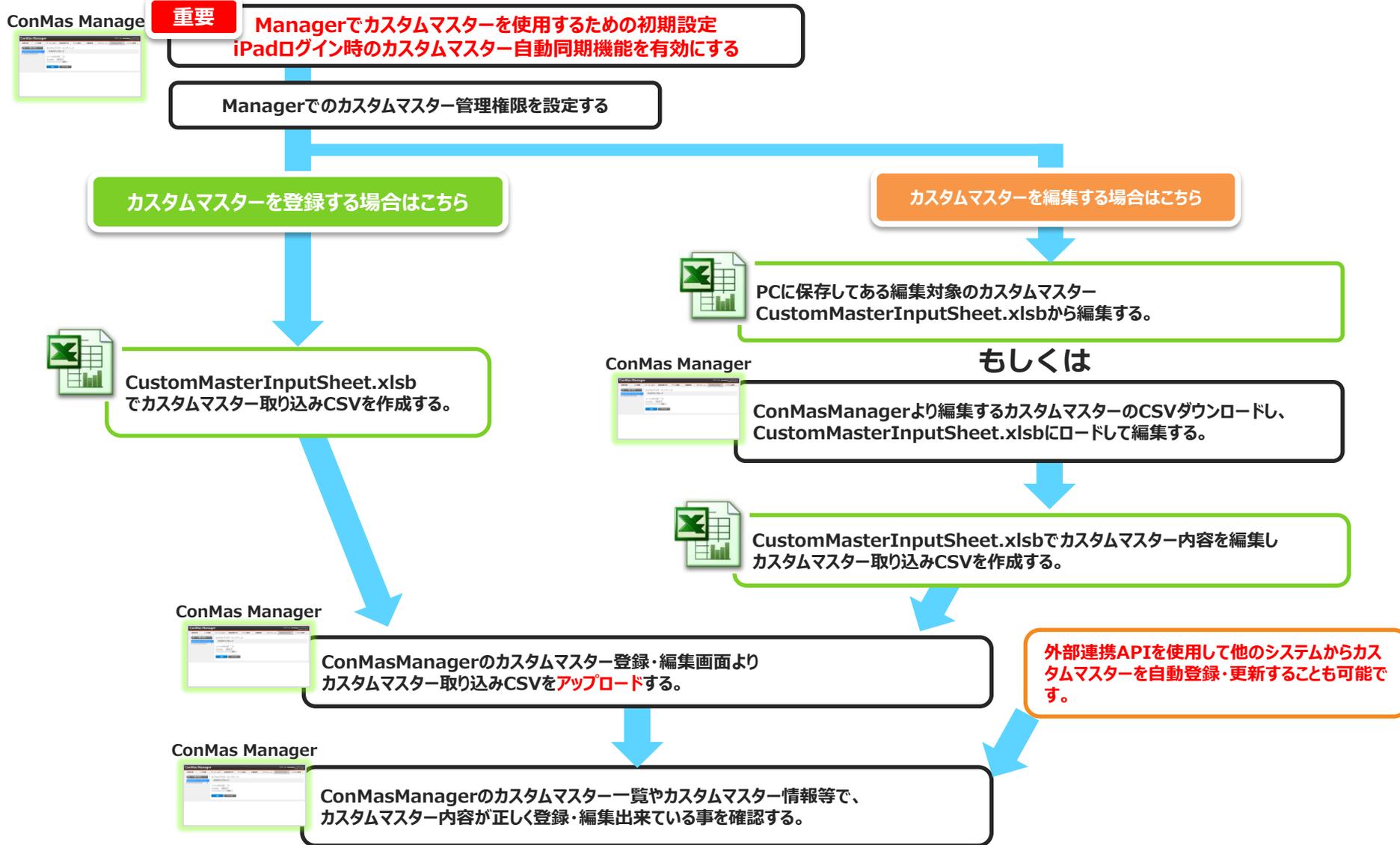
iPad アプリ



- カスタムマスターに応じたクラスター入力
- カスタムマスターのダウンロードと保存
- カスタムマスター最新情報の更新及び自動削除

Managerでのカスタムマスターの設定順序フロー

カスタムマスターを使用するためのManagerでの設定順序フローは以下となります。



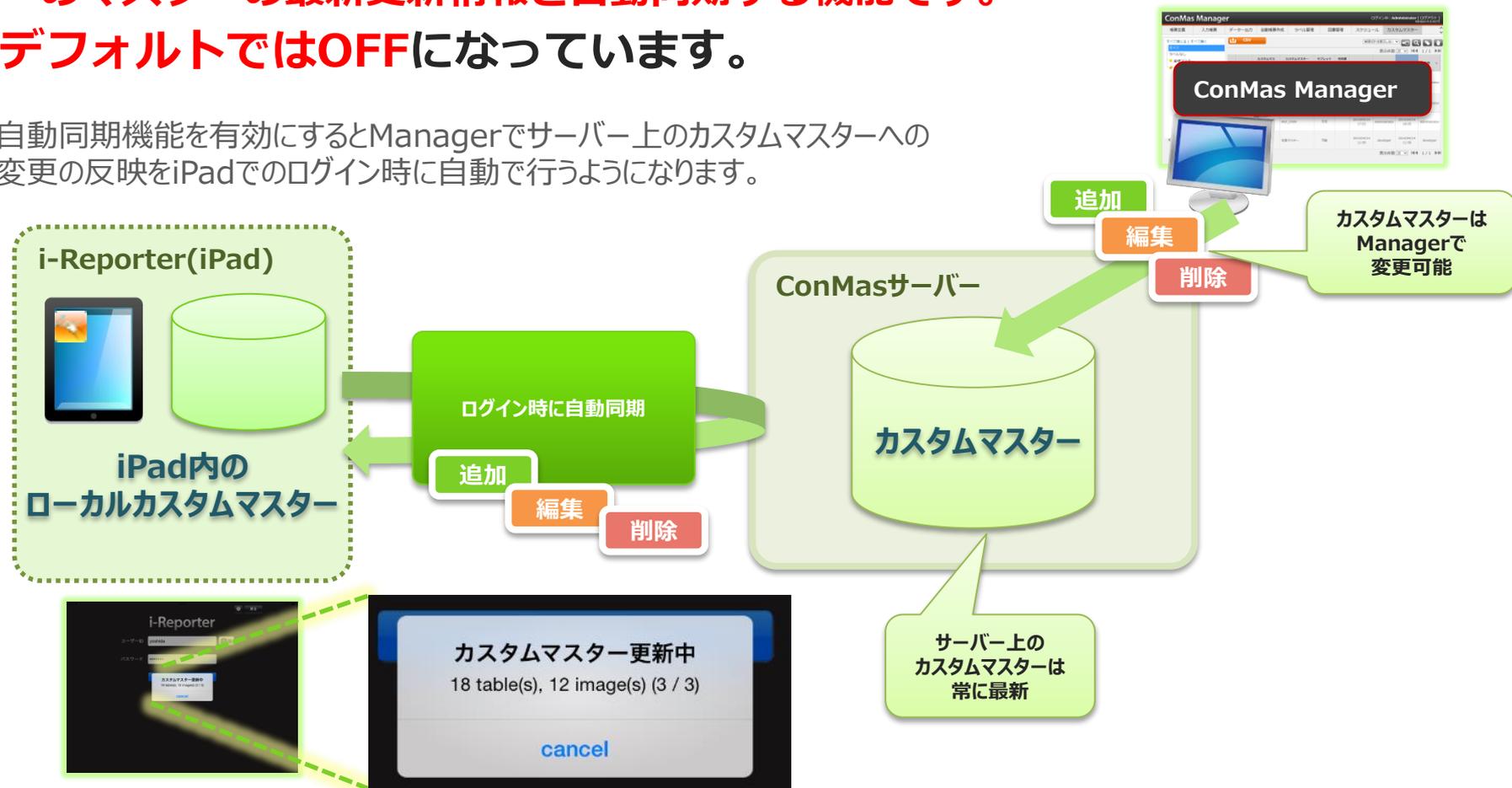
カスタムマスターを使用するための初期設定

カスタムマスター機能を使用するには、まず最初にカスタムマスターのサーバーとiPad間での自動同期機能をONにしてください。

※サーバーログインする際にiPadローカルに保存されているマスターをサーバーのマスターの最新更新情報と自動同期する機能です。

デフォルトではOFFになっています。

自動同期機能を有効にするとManagerでサーバー上のカスタムマスターへの変更の反映をiPadでのログイン時に自動で行うようになります。



iPadログイン時のカスタムマスター自動同期機能を有効にする

自動同期機能を有効にするには、システム管理→共通マスター管理にて設定します。

1. 共通キーより"IPAD_SETTING"を選択します。
2. 共通項目名称"AUTO_CUSTOM_MASTER_UPDATING"を"0"→"1"に変更します。

共通マスター一覧

No	共通キー	共通項目インデックス	共通項目名称	共通項目値	ロケール
0	IPAD_SETTING	0	SAVE_LOCAL_CAMERA_IMAGE	0	
1	IPAD_SETTING	1	AUTO_CUSTOM_MASTER_UPDATING	0	

① IPAD_SETTING を選択

② この行を設定します。

③ 0→1に設定します。

共通マスター管理

共通キー	IPAD_SETTING
共通項目インデックス	1
共通項目名称	AUTO_CUSTOM_MASTER_UPDATING
共通項目値	0
ロケール	

共通項目値 1

登録 キャンセル

※注意事項

マスター数が増えてくると通信環境により、同期処理に時間がかかる場合がありますのでご注意ください。
尚、ダウンロード処理は、iPadでのユーザー操作で処理をキャンセルする事は可能です。

Managerでのカスタムマスターの管理権限設定

ConMas Manager カスタムマスター管理機能を使用するには、まず ConMas Managerでカスタムマスター管理権限を設定します。

※iPadの入力時の権限設定ではなく、Managerでのカスタムマスターの管理権限です。

システム管理→グループ管理の“カスタムマスター”において、各ユーザーグループに対して、カスタムマスター管理の権限設定を行います。

- 参照 : カスタムマスター管理機能にて、登録されたカスタムマスターを閲覧・CSVダウンロード出来る権限です。これを有効にしないとManagerメニューに“カスタムマスター”メニューが表示されません。
- メンテナンス(登録・編集) : カスタムマスター管理機能にて、新規カスタムマスターの登録や編集、削除が出来る権限です。

グループ一覧

グループ ID	グループ名称	システム管理				図書管理				スケジュール				カスタムマスター		定義				考
		参照	作成	編集	削除	参照	登録	編集	削除	参照	作成	編集	削除	参照	メンテナンス	参照	作成	編集	削除	
20	CIMTOPS	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>											<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
16	外部開発者グループ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>											<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
17	外部開発者グループ/参照_作成_編集	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>											<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

権限を設定する。

カスタムマスター管理権限

カスタムマスター			
参照	メンテナンス	参照	メンテナンス
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

ConMas Manager

帳票定義 入力帳票 データー出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール システム管理

ConMas Manager

帳票定義 入力帳票 データー出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター

ログイン中: 吉田 [Ver

参照権限をつけるとメニューに“カスタムマスター”が表示されます。

カスタムマスターの構成

カスタムマスターの構成

カスタムマスターは、マスターの基本情報とフィールドからなるレコード情報で構成されます。マスターの基本情報には、以下の設定を行います。

設定項目	内容
カスタムマスターID	カスタムマスターを一意で識別するIDです。内部情報のため変更できません。
カスタムマスター名称	カスタムマスター名称です。iPadではこの名称が表示されます。
カスタムマスターキー	カスタムマスターを一意で識別できるキーです。 カスタムマスターIDは内部値で指定できませんが、こちらはユーザーにて決定する事が可能です。 一意キーのため、別のマスターと重複出来ません。
タブレット保存可否	iPad上にこのカスタムマスターを「保存する」「保存しない」を選択します。 「保存する」と設定した場合) ●そのカスタムマスターは自動でiPadへダウンロードされ、常に最新に更新されます。 ※自動同期機能を有効にしている場合です。 尚、自動でダウンロードしない場合は、手動ダウンロードにチェックを入れてください。 「保存しない」と設定した場合) 常にサーバー上のカスタムマスターを参照します。オフライン状態の場合は参照できません。
手動ダウンロード	手動ダウンロードにすると、自動でダウンロードされなくなります。
タブレット保持期間	手動ダウンロードに設定されたカスタムマスターの場合のみ設定出来ます。 iPadに手動でダウンロードして、iPadに保存された時点から、 ここで設定した時間を経過すると、そのカスタムマスターはiPadから自動で削除されます。
有効期限	カスタムマスターの利用有効期限を設定します。 有効期限を過ぎると、iPadから自動的に削除され利用が出来なくなります。
レコード数	カスタムマスター内の総レコード数を表示します。
更新日時	カスタムマスターの最終更新日時を表示します。

カスタムマスターのタブレット保存可否設定

カスタムマスターには大きくわけて

- ◆ タブレット保存可能カスタムマスター
 - ◆ タブレット保存不可カスタムマスター
- の2種類あります。

◆ タブレット保存可能カスタムマスター

iPad側に対象のカスタムマスターがローカル保存されている必要があります。
ローカル保存されていない状況だと使用出来ません。

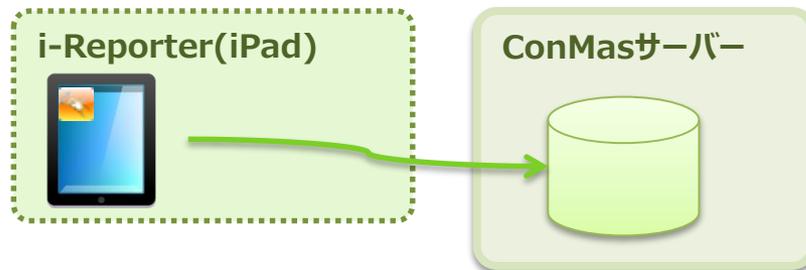
※サーバーと通信できる環境であれば、いつでも同期可能です。



iPad内のローカルカスタムマスターを参照します。

◆ タブレット保存不可カスタムマスター

iPad側は常にサーバーと通信出来る環境でないと使用できません。
また、iPadローカルへの保存は行われません。



サーバーのカスタムマスターを参照します。

手動ダウンロードとiPad保持期間

手動ダウンロードのカスタムマスターは、iPadにダウンロード保存した時点からiPadに保持できる時間を設定することができます。この時間を超えるとiPadから自動で削除されます。

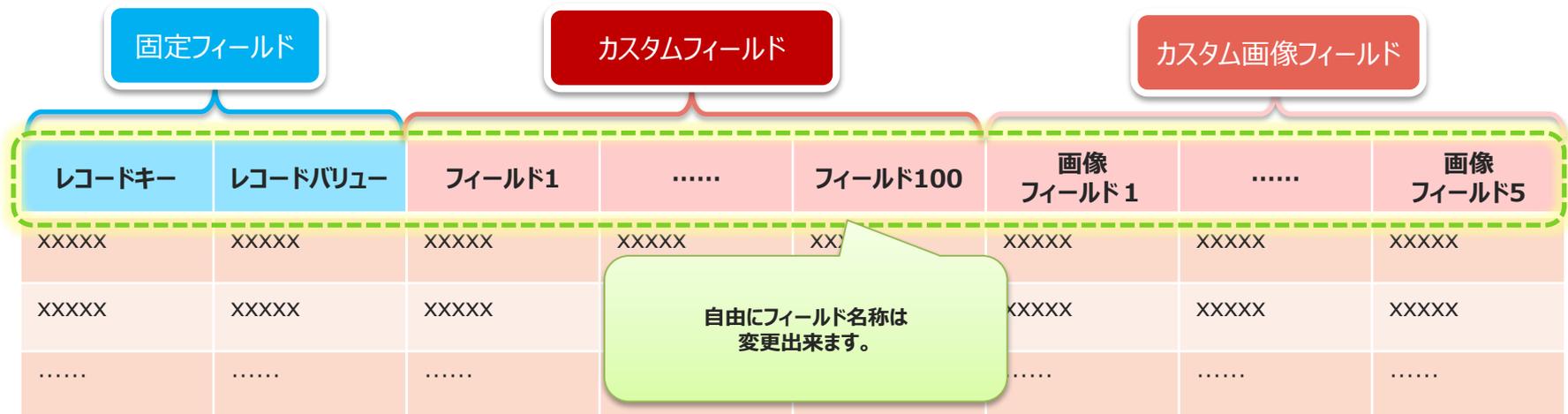
- 手動ダウンロードのカスタムマスターのiPad表示
 - 手動ダウンロードのカスタムマスターは、ログインユーザーが参照権限を持っている場合には、『未ダウンロード』で表示されます。



カスタムマスターのフィールド構造

カスタムマスターのフィールド構造は以下のようになっています。

- レコードキー : 固定フィールドです。マスター内でレコードを一意で識別するキーです。
 - レコードバリュー : 固定フィールドです。設定する値はカスタムフィールド同様に使用出来ます。
 - カスタムフィールド : 100列まで設定出来ます。
列の型を“文字列”“数値”“日付”“時刻”“チェック”から選べます。
 - カスタム画像フィールド : 5列まで設定出来ます。
- ※すべての列はフィールド名称のカスタマイズが可能です。



カスタムマスター取り込みCSVレイアウトの基本構造

基本構造

“マスター行”,“レコード行”の2つに分かれており、

- ・マスター行：マスター内容の設定 1つのマスターにつき1行
- ・レコード行：レコード内容の設定 1つのマスターにつき0～N行

この2つの行を使用してマスター設定を行います。

➤ CSVサンプル

マスター行

```
.....  
.....  
"M","M","M_STAFF","社員マスター","0","text;date;numeric;text","社員カナ;入社年月日;年齢;備考","顔写真","0","0","0",...  
"R","M","staff001","X X X X XXX01","","1","xxxxxxx","2012/01/01","30",...  
"R","M","staff002","X X X X XXX02","","1","xxxxxxx","2012/01/01","30",...  
"R","M","staff003","X X X X XXX03","","1","xxxxxxx","2012/01/01","30",...  
"R","M","staff004","X X X X XXX04","","1","xxxxxxx","2012/01/01","30",...  
"R","M","staff005","X X X X XXX05","","1","xxxxxxx","2012/01/01","30",...  
"R","M","staff006","X X X X XXX06","","1","xxxxxxx","12/01/01","30",...  
.....
```

レコード行

注意)

サポートWebより提供致しますExcelファイル“CustomMasterInputSheet.xlsb”で本CSVを自動に作成することが可能です。

これを利用する場合は、CSVレイアウトを意識する必要はありません。

外部プログラムなどでマスターデータを生成する場合には、このCSVレイアウトで作成します。

カスタムマスター取り込みCSVレイアウト マスター行

CSVレイアウト：マスター行

No	項目	説明
1	レコード区分	必須項目。 "M"固定です。この行がマスター行であることを表す区分となります。
2	アクション区分	必須項目。 M,D,Nのいずれかを指定します。 M:マージを意味し、指定されたマスターキーが既存カスタムマスター内に存在すれば、更新 存在しなければ追加となります。 D:削除を意味します。指定されたマスターキーが既存カスタムマスター内に存在すれば、物理削除します。 N: Nは何もしない事を意味します。この行について何も処理しません。
3	マスターキー	必須項目。 ユニークキーです。カスタムマスターを一意に識別できる値を設定します。同じマスターキーをもつカスタムマスターは登録できません。
4	マスター名称	マスター名称を設定します。iPadでカスタムマスター名称として表示される値となります。 未設定の場合は、マスターキー値が入ります。
5	マスター種別	0固定です。現状意味はありません。今後の機能拡張目的で保持している項目となります。 ※0以外が指定されていても0として登録されます。
6	フィールド型配列	フィールドカラム型をセミコロン";"で区切って指定します。最大100個まで設定できます。 順番は、フィールド名称配列と一致している必要があります。
7	フィールド名称配列	フィールドカラム名称をセミコロン";"で区切って指定します。最大100個まで設定出来ます。 尚、ここで未入力のフィールドはiPad側でフィールドとして認識しませんので、必要なフィールドには何らかの名称を割り当ててください。
8	画像フィールド名称配列	画像フィールドカラム名称をセミコロン";"で区切って指定します。最大5個まで設定出来ます。 尚、ここで未入力のフィールドはiPad側でフィールドとして認識しませんので、必要なフィールドには何らかの名称を割り当ててください。
9	本体保存可否	0,1のいずれかを指定します。 0:本体保存不可となります。iPadでは"サーバー接続が必要"と表示され、iPadローカルに保存されません。 1:本体保存可となります。iPadローカルに保存します。 未設定の場合は、1:本体保存可能となります。
10	ダウンロード区分	0,1のいずれかを指定します。 0:自動ダウンロードとなります。自動同期機能を有効にしていると自動でダウンロードされる設定となります。 1:手動ダウンロードとなります。自動同期機能を有効にしても自動でダウンロードされない設定となります。 未設定の場合は、0:自動ダウンロードとなります。
11	保持期間	ダウンロード区分が手動ダウンロードの場合のみ設定可能です。それ以外だと無視されます。 iPadへダウンロードしてからの保持期間を分単位で設定します。
12	有効期限	マスターの有効期限を設定します。フォーマットは"yyyy/MM/dd"です。尚、時刻指定は無視されますので出来ません。
13	表示順	マスターの表示順を設定します。0以上の値が設定出来ます。 未設定の場合は、0となります。
14	備考	マスター備考を設定します。
15	レコードキーヘッダ名称	レコードキーヘッダ名称を設定します。指定なしの場合"KeyName"となります。
16	レコーバリューヘッダ名称	レコーバリューヘッダ名称を設定します。指定なしの場合"ValueName"となります。
17	権限グループ	参照可能グループIDをセミコロン区切りで複数指定します。 権限設定しない場合は、ブランクです。
18	ラベルモード	既にこのマスターに対してラベルが付けられており、それを解除する場合は、1を指定します。 何もしない場合は、未入力です。
19	ラベル	ラベルを指定します。 "[icon=1(~10)]"でアイコン指定(省略可) "/"区切りでラベル階層 ";"区切りで複数ラベル

カスタムマスター取り込みCSVレイアウト レコード行

CSVレイアウト : レコード行

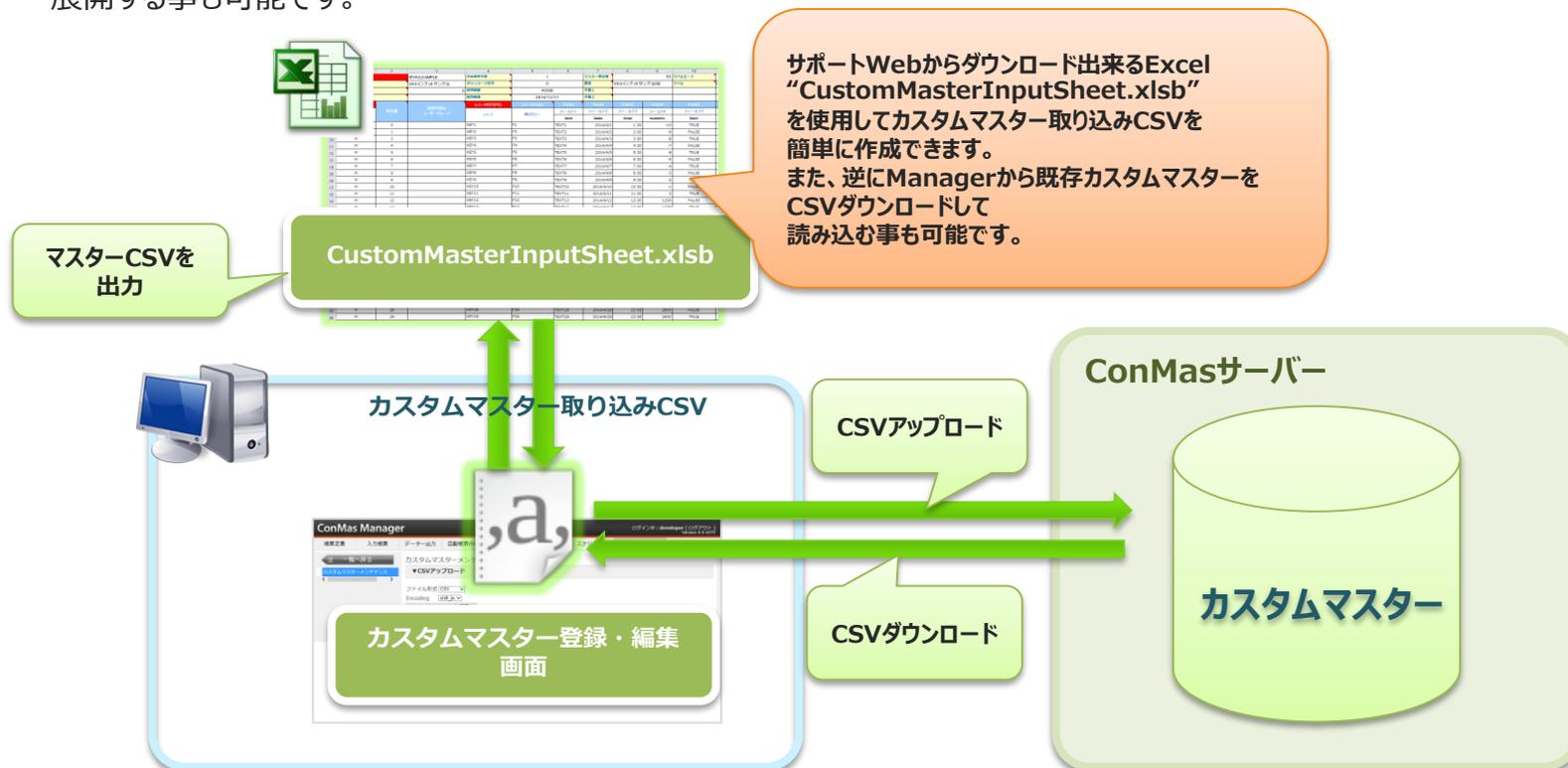
No	項目	説明
1	レコード区分	必須項目。 "R"固定です。この行がレコード行であることを表す区分となります。
2	アクション区分	必須項目。 M,D,Nのいずれかを指定します。 M: マージを意味し、指定されたレコードキーが既存カスタムマスターのレコード内に存在すれば、更新 存在しなければ追加となります。 D: 削除を意味します。指定されたレコードキーが既存カスタムマスターのレコード内に存在すれば、物理削除します。 N: Nは何もしない事を意味します。この行について何も処理しません。
3	レコードキー	必須項目。 ユニークキーです。カスタムマスター内のレコードを一意に識別できる値を設定します。 同じカスタムマスター内で同一キーをもつレコードは登録できません。
4	レコードバリュー	バリュー値の入力値を入力します。
5	権限グループ	参照可能グループIDをセミコロン区切りで複数指定します。 権限設定しない場合は、ブランクです。
6	表示順	マスターの表示順を設定します。0以上の値が設定出来ます。 未設定の場合は、0となります。
7	フィールド1	フィールド1の入力値を設定します。
...
106	フィールド1 0 0	フィールド1 0 0の入力値を設定します。
107	画像フィールド1	画像フィールド1にセットする画像ファイル名を入力します。
...
111	画像フィールド5	画像フィールド1にセットする画像ファイル名を入力します。

カスタムマスターの登録

カスタムマスターの登録・編集方法

カスタムマスターの登録・編集はすべてCSVで行います。

- このCSVレイアウトにつきましては、前述の「カスタムマスター取り込みCSVレイアウト」を参照ください。
- Managerのカスタムマスター登録・編集画面にてCSVファイルをアップロードして更新します。
- サポートWebに公開されている「**CustomMasterInputSheet.xlsb**」を使用すれば、EXCELシート上にマスター情報を設定する事で簡単に「カスタムマスター取り込みCSV」の作成をすることが出来ます。
(ブックを開く場合、「セキュリティ警告」が表示されましたら、[コンテンツの有効化]を選択してください。)
[コンテンツの有効化]の方法は、[ここを参照ください。](http://office.microsoft.com/ja-jp/excel-help/HA010354316.aspx)
- 既にManagerにて取り込んだカスタムマスターをCSVダウンロードし、それを「**CustomMasterInputSheet.xlsb**」上に展開する事も可能です。

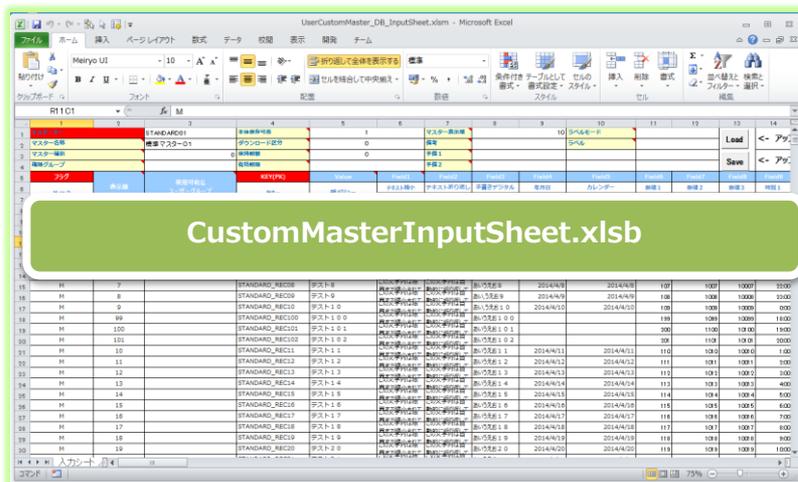


登録・編集手順 1：EXCELファイルでのCSV作成

1. Excelファイル「CustomMasterInputSheet.xlsb」をサポートWebよりダウンロードします。

※Excelファイルにおける操作方法については、次ページ以降を参照ください。

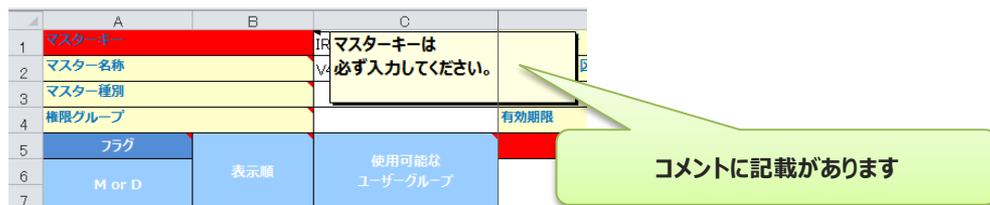
※直接CSVファイルが登録できる場合は、本Excelを使用する必要はありません。



2. Excelを起動し、入力シート为背景が白のセルに必要な情報を記入します。

※各入力項目タイトルのセル内コメント欄に、入力方式について記載があります。

本マニュアル以外にもこちらを参考いただき入力ください。



登録・編集手順 1 : EXCELファイルでのCSV作成

3. マスターの基本情報の各セルに以下の要領にて値を入力します。

	A	B	C
1	マスターキー		IRV4.0_SAMPLE
2	マスター名称		V4.0インプットサンプル
3	マスター種別		0
4	権限グループ		

マスターキー：
文字列で入力
入力必須)

マスター種別：
0を選択してください。
1は現在未使用。

マスター名称：
文字列で入力を行います。
指定がない場合はマスターキーが名称となります。

権限グループ：
参照可能なグループ番号を；で区切り入力します。
指定が無い場合には権限設定は無

登録・編集手順 1 : EXCELファイルでのCSV作成

マスターの基本情報の設定

D	E	F
本体保存可否	1	
ダウンロード区分	0	
保持期間	43200	
有効期限	2014/12/31	

本体保存可否：
0:不可
1:可能
(いずれかで設定)

ダウンロード区分：
0:自動ダウンロード
1:手動ダウンロード
(いずれかで設定)

保持期間：
数値を分指定で設定
(未入力場合は設定無)

有効期間：
yyyy/MM/dd形式で指定
(未入力の場合は期間無)

登録・編集手順 1 : EXCELファイルでのCSV作成

マスターの基本情報の設定

G	H	I
マスター表示順		55
備考	V4.0インプット サンプルDB	
予備1		
予備2		

マスター表示順：
0～の数値で指定（未入力可）

備考：
マスター備考を文字列で記入（未入力可）

J	K	L
ラベルモード		0
ラベル	[icon=3]Label_A/LabelA-1 ;[icon=4]Label_B	

ラベルモード：
0 : 何もしない
1 : 既にこのマスターに対してラベルが付けられており、それを解除する場合は、1 を指定
（いずれかで設定）

ラベル：
入力例の書式にて ; で区切りラベルを指定
例：
[icon=3]Label_A/LabelA-1 ; [icon=4]Label_B

登録・編集手順 1 : EXCELファイルでのCSV作成

4. カスタムマスターテーブルを構成するキー情報とそのフィールドの情報を設定します。

レコードKEY(UK)	レコードValue	Field1	Field2
	親バリュー	フィールド1 text	フィールド2
KEY1	P1	TEXT11	2014/
KEY2	P2	TEXT21	2014/
KEY3	P3	TEXT31	2014/
KEY4	P4	TEXT4	2014/
KEY5	P5	TEXT5	2014/
KEY6		TEXT6	2014/4/
KEY7		TEXT7	2014/4/7/
KEY8		TEXT8	2014/4/7/
KEY9	P9		2014/4/7/
KEY10	P10		2014/4/7/

レコードキーヘッダ名称 :
文字列で名称を入力
(未入力可)

レコードバリューヘッダ名称 :
文字列で入力
(未入力可)

フィールド名称 :
文字列で入力
(未入力可)

フィールド型 :
各入力クラスターに対応させるフィールド型を定義し、入力書式は型に応じて以下に設定します。

text: 文字列
date: yyyy/MM/dd書式
time: hh:mm
numeric: 数値
bool: TRUE / FALSE

登録・編集手順 1 : EXCELファイルでのCSV作成

4. カスタムマスターテーブルを構成する実際のレコード情報を設定します。

5	フラグ		
6	M or D	表示順	使用可能なユーザーグループ
7			
8	M	1	
9	M	2	
10	M	3	
11	M	4	
12	M	5	

レコード行

フラグ : M マージ動作を行います
D 削除動作を行います
空欄はレコード作成を行いません

新規に作成するとき→M
編集し更新するとき→M
更新時に変更ないとき→空欄

使用可能なユーザーグループ :
参照可能グループを ; で区切り指定
(未入力可)

表示順 : レコードの表示する順番を 0 ~ の
数値で指定 (未入力可)

登録・編集手順 1 : EXCELファイルでのCSV作成

レコード情報の設定

レコードKEY(UK)	レコードValue	Field1	Field2
	親バリュー	フィールド1	フィールド2
		text	date
KEY1	P1	TEXT11	2014/4/1
KEY2	P2	TEXT21	2014/4/2
KEY3	P3	TEXT31	2014/4/3
KEY4	P4	TEXT4	2014/4/4
KEY5	P5	TEXT5	
KEY6	P6	TEXT6	
KEY7	P7	TEXT7	20
KEY8	P8	TEXT8	20
KEY9	P9	TEXT9	20
KEY10	P10	TEXT10	2014/4/10

フィールド：
各フィールド値は、フィールド型で設定した書式で入力してください
(未入力も可)

レコードキー：
レコード間で重複しないユニークキーを文字列で設定。
フラグが空欄でない場合には、必ず指定してください。

レコードバリュー：
文字列で設定してください
(未入力も可)

登録・編集手順 1 : EXCELファイルでのCSV作成

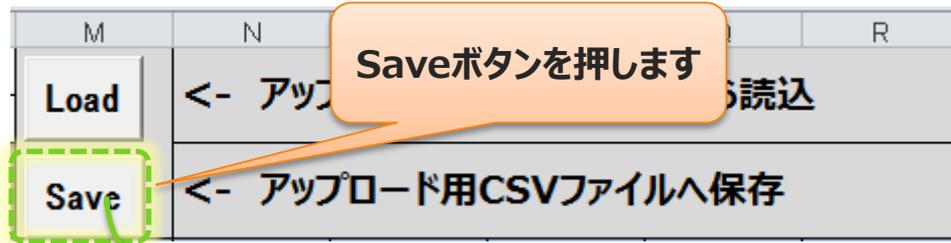
レコード情報の設定 : 画像情報の設定

Image01	Image02	Image03	Image04	Image05
画像01				
image1.png				
image2.png				
image3.png				
image4.png				
image5.png				

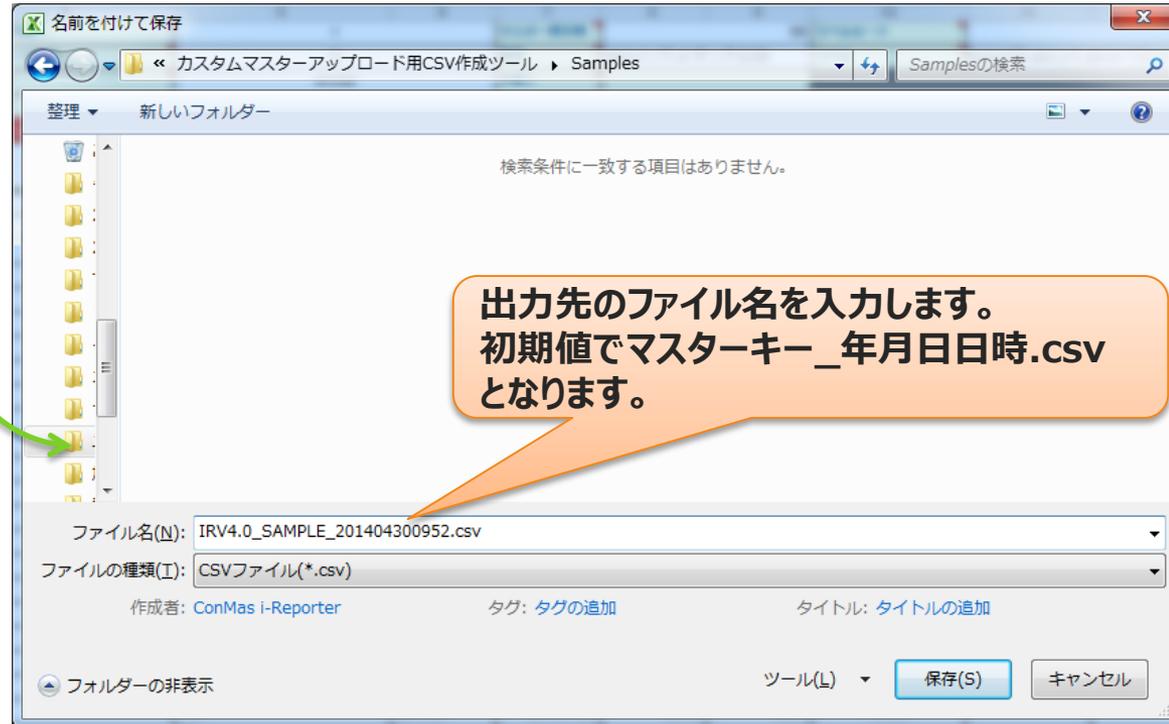
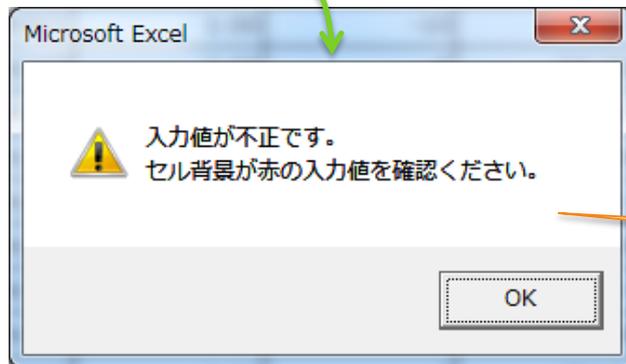
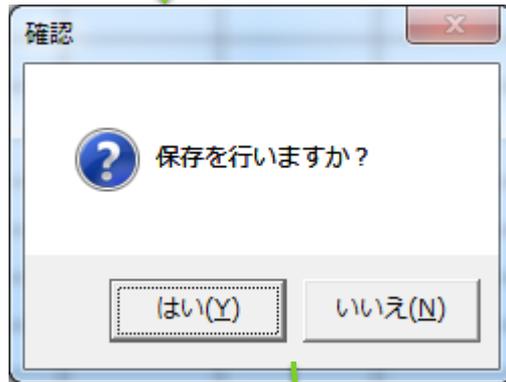
画像フィールド名称:
文字列で入力。
(未入力可)

ファイル名 :
画像ファイル名を記入
(未入力可)

登録・編集手順2：EXCELファイルからCSV出力



セルに値を入力後、左記の操作を行います。



出力先のファイル名を入力します。
初期値でマスターキー_年月日日時.csv
となります。

不正な入力値が存在した場合、
メッセージが表示されセル背景が赤く表示されます。

登録・編集手順3：CSVのアップロード

1. 作成したCSVの内容を取り込みを、Managerから行います。
Managerのメニュー「カスタムマスター」→登録・編集ボタンをクリックし、カスタムマスター登録・編集画面を表示します。

①メニュー「カスタムマスター」をクリック

②登録・編集ボタンをクリック

カスタムマスター登録・編集画面

ID	カスタムマスター名称	タイプ	参照	有効/無効	作成日時	作成者	更新日時	更新者
13	V4.0インプットサンプル V4.0インプットサンプルDB						2014/04/15 17:32	高橋 大
2	社員マスター テスト用	社員マスター	参考	不可	2014/04/14 11:58	developer	2014/04/15 14:15	developer
3	商品マスター 商品サンプル	MST_ITEM	商品 参考					
4	顧客マスター 顧客サンプル	MST_CUSTOMER	顧客 参考					

カスタムマスターメンテナンス

▼CSVアップロード

ファイル形式 CSV

Encoding shift_jis

登録 キャンセル

登録・編集手順3：CSVのアップロード

2. 登録したCSVファイルを選択します。

ファイル形式については、CSVを選択します。

EncodingはCSVファイルのEncodingを指定します。

ラベルの位置設定については、次ページの説明をご参照ください。

最後に登録ボタンをクリックすると、アップロードが開始されます。

※画像フィールドに画像をセットする場合は、ファイル形式に“CSV_ZIP”を指定します。

The screenshot shows the 'ConMas Manager' interface. The top navigation bar includes '帳票定義', '入力帳票', 'データ出力', '自動帳票作成', 'ラベル管理', '図書管理', 'スケジュール', 'カスタムマスター', and 'カスタムメニュー'. The main content area is titled 'カスタムマスターメンテナンス' and contains a section for 'CSVアップロード'. The 'ファイル形式' dropdown is set to 'CSV' and 'Encoding' is set to 'shift_jis'. A callout box labeled '① CSVファイルを指定します。' points to the file selection area. Below the form, the '登録' button is highlighted with a callout box labeled '② 登録ボタンをクリックします。'.

This screenshot shows the same 'ConMas Manager' interface, but with a white dialog box in the foreground that says '処理中...' (Processing...). The background interface is dimmed, showing the '登録' button and the 'CSVアップロード' section.

ラベルの位置設定

V5.0 機能強化されました。

J	K
ラベルモード	
ラベル	[icon=3]Label_A/LabelA-1;

アップロードファイル中の“ラベル”が、**Label_A/LabelA-1** のように階層設定している場合、作成されたカスタムマスターには、「**Label_A**」、「**LabelA-1**」の**2つのラベル**が付きます。



カスタムマスターメンテナンス

▼ CSVアップロード

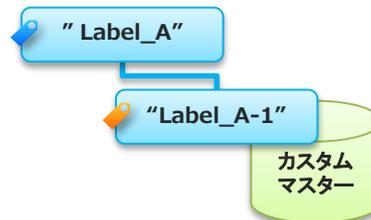
ファイル形式

Encoding

ラベルの位置設定 ※チェックすると、アップロードファイル中の“ラベル”が階層設定されていた場合に、一番下のみラベルが付きます。

ラベルは階層化されていますが、一番下のラベルのみ付いているので、「Label_A-1」ラベルで検索した場合のみマスターが検索できます。

登録時に画面の「ラベルの位置設定」にチェックを入れておくことで、**階層の一番下のラベルのみ**を付けることができます。



登録・編集手順3：CSVのアップロード

3. 正常に取り込まれると”正常に取り込みました”メッセージが表示されます。

The screenshot shows the ConMas Manager web application interface. At the top, the title "ConMas Manager" is on the left, and the user is logged in as "developer" with a "ログアウト" button and the version "Version:4.0.4273" on the right. A navigation bar contains several menu items: 帳票定義, 入力帳票, データー出力, 自動帳票作成, ラベル管理, 図書管理, スケジュール, カスタムマスター, and システム管理. The main content area is titled "カスタムマスターメンテナンス" and has a sub-section "▼CSVアップロード". Below this, there are two dropdown menus: "ファイル形式" set to "CSV" and "Encoding" set to "shift_jis". A "登録" button is visible. A green dashed box highlights a message box that says "正常に取り込みました。" (Successfully imported). A callout bubble points to this message with the text "取り込み完了メッセージ" (Import completion message). Below the message box are "登録" and "キャンセル" buttons.

画像付のCSVを作成、アップする方法

カスタムマスターのレコードに画像が含まれている場合は以下の方法で行います。

1. 取り込みCSVのレコード行、画像フィールドにセットしたい画像ファイル名を拡張子つきで設定します。

CSVの場合

100	画像フィールド1	画像フィールド2	画像フィールド3	画像フィールド4	画像フィールド5
	sample.png				

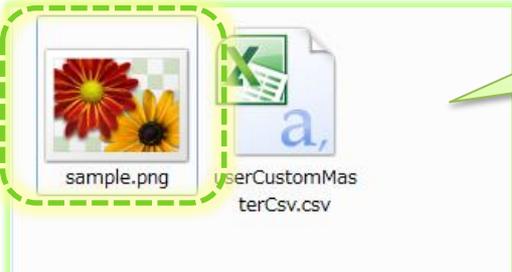
CSVファイルの画像フィールドに
画像ファイル名を拡張子つきで記述

EXCELの場合

マスター種別		MST_ITEM					
権限グループ		商品マスター					
フラグ	表示順	使用可能な ユーザーグループ	Field98	Field99	Field100	Image01	Image02
M or D						画像フィールド	
D	10					sample.png	
M	100						
	101						
	11						

2. 取り込みCSVと対象の画像ファイルを同一フォルダ内に配置します。

フォルダ内にCSVと画像ファイルを配置



画像付のCSVを作成、アップする方法

3. 取り込みCSVと対象の画像ファイルを複数選択し、Zip圧縮を行います。



4. 取り込みCSVと対象の画像ファイルで構成されたZipファイルをアップロードします。

The screenshot shows the 'カスタムマスターメンテナンス' (Custom Master Maintenance) screen. The '▼CSVアップロード' (CSV Upload) section is active. The 'ファイル形式' (File Format) dropdown is set to 'CSV_ZIP'. The 'Encoding' dropdown is set to 'shift_jis'. The file path is 'C:\Users\sameru\Download' with a '参照...' (Reference) button. There are '登録' (Register) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

ファイル形式は“CSV_ZIP”を選択
先程のZipファイルを選択し
登録クリック

カスタムマスターの編集

既存のカスタムマスターの編集の方法

既にManagerに保存されたカスタムマスターのレコードを編集する場合は、CustomMasterInputSheet.xlsbを使用して行います。

新たなレコードの追加や変更、削除を行うことができます。

以下の二つの方法のどちらかから、行います。

PCに保存してある編集対象のカスタムマスターCustomMasterInputSheet.xlsbから編集する。

ConMasManagerより編集するカスタムマスターのCSVダウンロードし、CustomMasterInputSheet.xlsbにロードして編集する。

既存のカスタムマスターの編集の方法

新たなレコードの追加や既存のレコードの変更、削除を行うには、各レコードのフラグ
M：マージ、D：削除、空欄：何もしない の設定で行います。

5	フラグ	表示順	使用可能な ユーザーグループ
6	M or D		
7			
8	M	1	
9	M	2	
10	M	3	
11	M	4	
12	M		

フラグ：M マージ動作を行います
D 削除動作を行います
空欄はレコード作成を行いません

新規に作成するとき→M
編集し更新するとき→M
更新時に変更ないとき→空欄

カスタムマスターのCSVダウンロード

メニュー「カスタムマスター」をクリックしてカスタムマスター一覧を表示します。

1. CSVダウンロードする対象のカスタムマスターにチェックを入れます。
2. “CSV”ボタンをクリックするとCSVダウンロードが開始されます。

※複数のカスタムマスターにチェックをいれると1つのCSVにまとめてダウンロードされます。

Excelファイル“CustomMasterInputSheet.xlsb”は1CSVにつき1カスタムマスターにしか対応していないので

CustomMasterInputSheet.xlsbで利用できません。

このため、CustomMasterInputSheet.xlsbを使用される場合は、単一チェックにてダウンロードしてください。

The screenshot shows the 'ConMas Manager' interface. The top navigation bar includes '帳票定義', '入力帳票', 'データ出力', '自動帳票', '図書管理', 'スケジュール', 'カスタムマスター', and 'システム管理'. The 'カスタムマスター' menu is active. A 'CSV' button is highlighted with a green dashed box and a callout bubble labeled '②複数選択'. The main table displays a list of custom masters with columns for ID, name, key, tablet retention, validity period, registration date, registrant, update date, and updater. The first row, '商品マスター' (ID 3), has its checkbox checked, highlighted by a green dashed box and a callout bubble labeled '①CSVダウンロードするカスタムマスターにチェックを入れる'. The table also shows '顧客サンプル' (ID 4) and '社員マスター' (ID 2) with unchecked checkboxes.

ID	カスタムマスター名称	カスタムマスターキー	タブレット保存可否	有効期限	登録日時	登録者	更新日時	更新者
3	商品マスター 商品サンプル 商品 参考	MST_ITEM	可能	2014/06/30	2014/04/14 17:52	Administrator	2014/04/17 13:06	developer
4	V4.0インプットサンプル 1.0インプットサンプル 顧客サンプル 顧客 参考	MST_CUSTOMER	可能	2014/12/31	2014/04/16 15:59	高橋 大	2014/04/16 17:33	高橋 大
2	社員マスター テスト用 参考 テスト用マスター	社員マスター	不可		2014/04/14 11:58	developer	2014/04/16 11:36	developer

カスタムマスターのCSVダウンロード

カスタムマスター一覧から対象のカスタムマスター情報の参照からもCSVをダウンロードする事が可能です。

▼カスタムマスター情報	
カスタムマスターID	3
カスタムマスター名称	商品マスター
カスタムマスターキー	MST_ITEM
タブレット保存可否	する
手動ダウンロード	無効
タブレット保持期間	
有効期限	2014/06/30
レコード数	99
更新日時	2014/04/17 13:06:04



▼カスタムマスター ダウンロード

↓ CSV

クリックしてCSVダウンロード

ダウンロードしたCSVをExcelに展開する

「CustomMasterInputSheet.xlsb」にダウンロードしたCSVを展開する事が出来ます。
 カスタムマスターを取り込む際に使用したExcelファイルが手元にない時でも
 簡単にそのカスタムマスターの内容を復元出来ます。

CustomMasterInputSheet.xlsb

確認
 読込を行いますか?
 はい(Y) いいえ(N)

ダウンロードしたCSVを選択して開く

ファイルを開く
 userCustomMaster (4)
 ダウンロード ライブラリ
 userCustomMaster (4)
 userCustomMasterCsv.csv
 ファイル名(N): userCustomMasterCsv.csv
 開く(O) キャンセル

Load Processed..... Record:199

進捗状況をステータスバーに表示します。
 強制中断したい場合はESCキーを押し、
 下記メッセージを表示させます。

終了(E) ボタンを押します

ダウンロードしたCSVの内容で
 Excellに展開

※ダウンロードしたCSVを利用したExcel編集方法については、
 [登録・編集手順 1: EXCELファイルでのCSV作成]を参照ください。

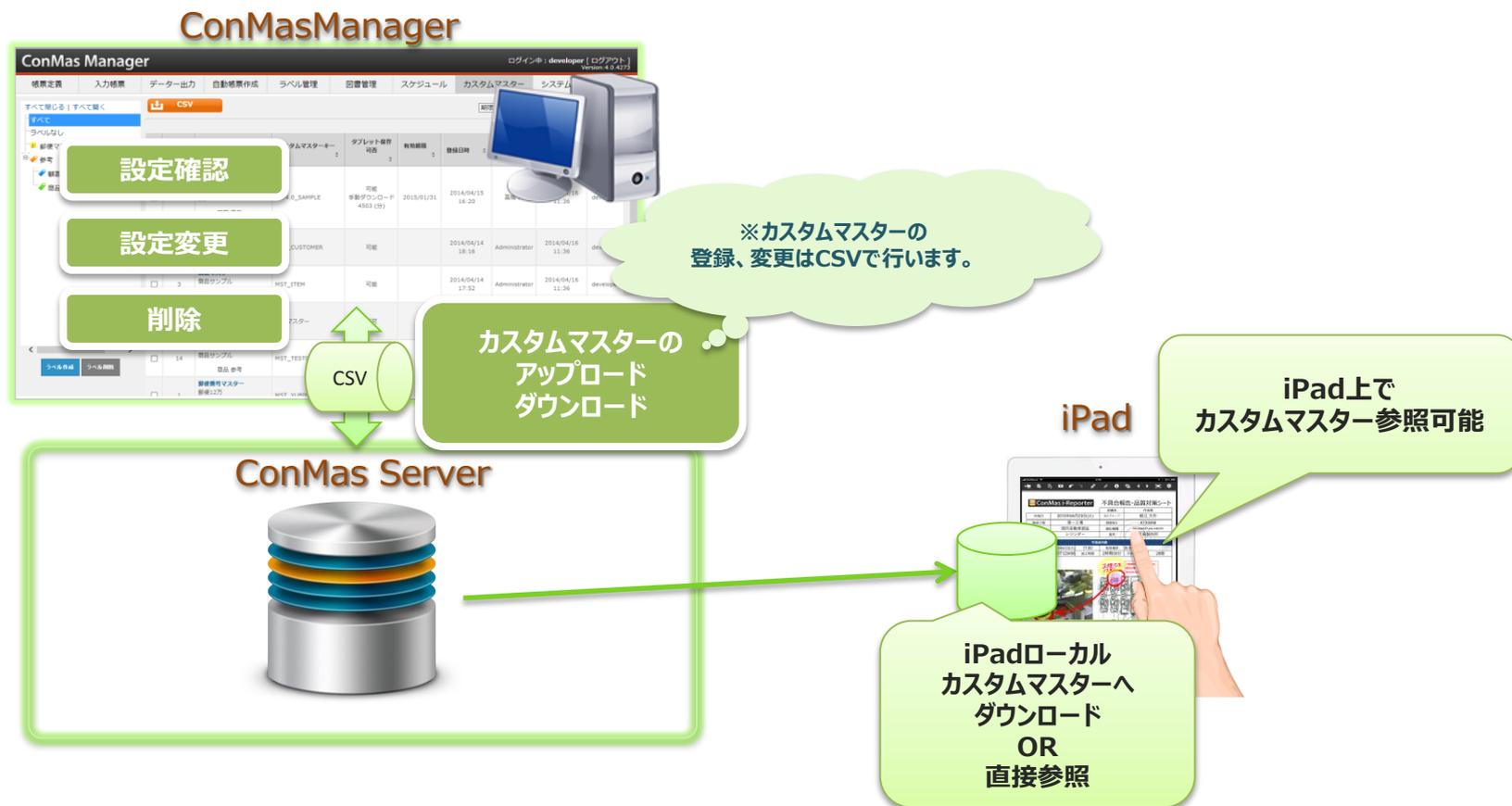
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
マスタ名	MSTJTEM	本体保存可否	1	マスタ-表示順	0	ラベルモード					
マスタ名	商品マスタ	ダウンロード区分	0	備考	0	商品サンプル					参考/参考/商品
マスタ-編集		削除順序	0	字順1							
編集グループ		有効期限	2014/6/30	字順2							
フラグ	表示順	使用可能なユーザーグループ	レコードKEY(PK)	レコードValue	Field1	Field2	Field3	Field4	Field5	Field6	Field7
M or D			商品コード	商品名	販売数量	販売価格	在庫数量	在庫数量			
M	100		100	商品名	9820	4650	31430	31430			
M	101		101	商品名	14800	7750	29605	29605			
M	11		11	商品名	10000	5970	3874	3874			
M	12		12	商品名	10000	5970	25929	25929			
M	13		13	商品名	10000	5970	14860	14860			
M	14		14	商品名	14300	7150	16300	16300			
M	15		15	商品名	14300	6240	28854	28854			
M	16		16	商品名	3980	2280	14521	14521			
M	17		17	商品名	3980	2280	17318	17318			
M	18		18	商品名	32800	21920	25801	25801			
M	19		19	商品名	32800	21920	23682	23682			
M	2		2	商品名	12800	4170	31230	31230			
M	20		20	商品名	32800	21920	13164	13164			
M	21		21	商品名	32800	21920	21398	21398			
M	22		22	商品名	32800	21920	5331	5331			
M	23		23	商品名	32800	21920	5331	5331			
M	24		24	商品名	9200	5331	27	27			
M	25		25	商品名	9200	5331	27	27			
M	26		26	商品名	19200	10380	2984	2984			
M	27		27	商品名	24800	11490	20161	20161			
M	28		28	商品名	24800	11490	32165	32165			
M	29		29	商品名	24800	11490	32165	32165			

カスタムマスターの管理

カスタムマスターの管理

Managerにおいて、カスタムマスターを全ての管理を行います。

- ラベルによる階層表現が可能です。（帳票定義、入力帳票と同様のラベル管理ができます。）
- ラベルはユーザーグループごとに参照権限設定が可能です。
- カスタムマスターごとに、ユーザーグループ参照権限設定が可能です。（帳票定義、入力帳票と同様の参照権限管理ができます。）
- CSVを使用してカスタムマスターの登録・編集を行います。



カスタムマスターの一覧表示

ConMasサーバーで管理しているカスタムマスターを一覧表示します。

- メニュー「カスタムマスター」をクリックして表示します。※ユーザーカスタムマスター参照もしくは登録・編集権限が必要です。
- カスタムマスター名など各カスタムマスター属性による検索絞り込みが可能です。
- カスタムマスター用のラベルの登録、削除が可能です。
- カスタムマスターのCSVダウンロードが可能です。

The screenshot shows the ConMas Manager web application interface. The top navigation bar includes 'スケジュール', 'カスタムマスター', and 'システム管理'. The 'カスタムマスター' menu is highlighted. Below the navigation, there are buttons for 'すべて閉じる | すべて開く', 'すべて', and a 'CSV' download button. A table lists custom masters with columns for ID, name, key, retention, validity, and user. Callouts provide instructions: 'メニュー「ドキュメント」をクリックするとドキュメント一覧を表示します。' (Clicking 'ドキュメント' shows the document list), 'カスタムマスター情報をCSVダウンロードします。' (Download custom master info as CSV), '有効期限による絞り込みを行います。' (Filter by validity period), 'カスタムマスター名等での検索絞り込みを行います。' (Filter search by custom master name), 'ログインユーザーの参照可能なラベルのみ表示されます。' (Only labels accessible to the logged-in user are shown), and 'ここから直接ラベルの登録・削除を行うことができます。' (You can register/delete labels directly from here). A search icon and a '期限切れを表示しない' dropdown are also visible.

ID	カスタムマスター名称	カスタムマスターキー	タブレット保存可否	有効期限	ユーザー
2	MST_STAFF テスト用	社員マスター	可能	2014/04/14 11:58	developer
4	商品マスター 商品サンプル	MST_ITEM		2014/04/14 21:30	Administrator
4	顧客マスター 顧客サンプル	MST_CUS		2014/04/14 21:30	Administrator
1	郵便番号マスター 郵便12万	MST_YUBIN_TABLE	手動ダウンロード	2014/04/14 16:53	developer
	T_TEST01		可能	2014/04/14 21:28	developer

カスタムマスターの設定内容を確認する

カスタムマスター情報画面では、対象のカスタムマスター設定内容を確認出来ます。
設定内容)

- カスタムマスター各種設定内容
- カスタムマスタープレビュー情報 ※10レコードまで
- カスタムマスターのCSVダウンロード
- ラベル設定内容
- 参照権限設定内容

ログイン中 : developer [ログアウト]
Version: 4.0.4273

帳票定義 | 入力帳票 | データー出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | 図書管理 | スケジュール | **カスタムマスター** | システム管理

カスタムマスター情報

カスタムマスター情報

▼カスタムマスター情報	
カスタムマスターID	1
カスタムマスター名称	郵便番号マスター
カスタムマスターキー	MST_YUBIN_TABLE
タブレット保存可否	する
手動ダウンロード	有効
タブレット保持期間	
有効期限	
レコード数	126000
更新日時	2014/04/14 21:30:31

▼マスターレコードプレビュー表示

住所CD

カスタムマスターのレコード情報を確認する

カスタムマスター情報画面では、最大10レコードまでレコード情報を確認出来ます。

- マスターキー、マスターバリューによる検索が可能です。
- 全レコード情報を確認するには、CSVダウンロードを行ってください。

カスタムマスター情報

▼マスターレコードプレビュー表示

マスターキー、マスターバリューで検索可能です。

住所CD

郵便番号

検索

住所CD	郵便番号	住所CD	都道府県CD	市区町村CD	町域CD	郵便番号	事業所フラグ	廃止フラグ	都道府県	都道府県カナ	市区町村	市区町村カナ	町域	町域カナ	町域補足	京都通り名	字丁目	字丁目カナ	補足	事業所名	事業所名カナ	事業所住所	新住所CD	
1000000	001-0000	1000000	1	1102	11020000	001-0000	0	0	北海道	北海道	札幌市	札幌市	サッ		(該									
10000000	010-0000	10000000	5	5201	52010000	010-0000	0	0	秋田県	秋田県	大館市	大館市	大		(該									

レコード情報
最大10レコードまで表示されます。

カスタムマスターのラベル・参照権限情報を確認する

カスタムマスター情報画面では、カスタムマスターにつけられているラベル参照権限を確認出来ます。

カスタムマスター情報

ラベル情報

▼ラベル情報

ラベル	備考
郵便マスター	

▼グループ別権限設定

権限設定なし

参照権限情報

グループID	グループ名称	
20	CIMTOPS	参照可能
16	外部開発者グループ	参照可能
17	外部開発者グループ/参照_作成_編集	参照可能
18	外部開発者グループ/参照_作成_編集/参照_作成	参照可能

カスタムマスターの設定内容を変更する

カスタムマスター情報画面の編集ボタンをクリックし編集画面を表示します。
ここでは、カスタムマスター設定内容の変更が出来ます。

- レコード情報は変更出来ません。

ConMas Manager ログイン中 : developer [ログアウト]
Version:4.0.4273

帳票定義 入力帳票 データー出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター システム管理

カスタムマスター情報

カスタムマスター情報

カスタムマスターID 3

①編集ボタンをクリックする

②登録をクリックして編集を確定

登録 キャンセル

②設定内容を変更する

▼カスタムマスター情報

カスタムマスターID	3
カスタムマスター名称	商品マスター
タブレット保存可否	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない
手動ダウンロード	<input type="checkbox"/>
タブレット保持期間	日 時間 分
有効期限	

カスタムマスターの削除

カスタムマスター一覧上でカスタムマスターの削除が行えます。

- この削除は、完全削除となります。
- 論理削除を行いたい場合には、有効期限を設定する事で代用できます。
- 削除対象となったカスタムマスター内の全レコードが削除されます。

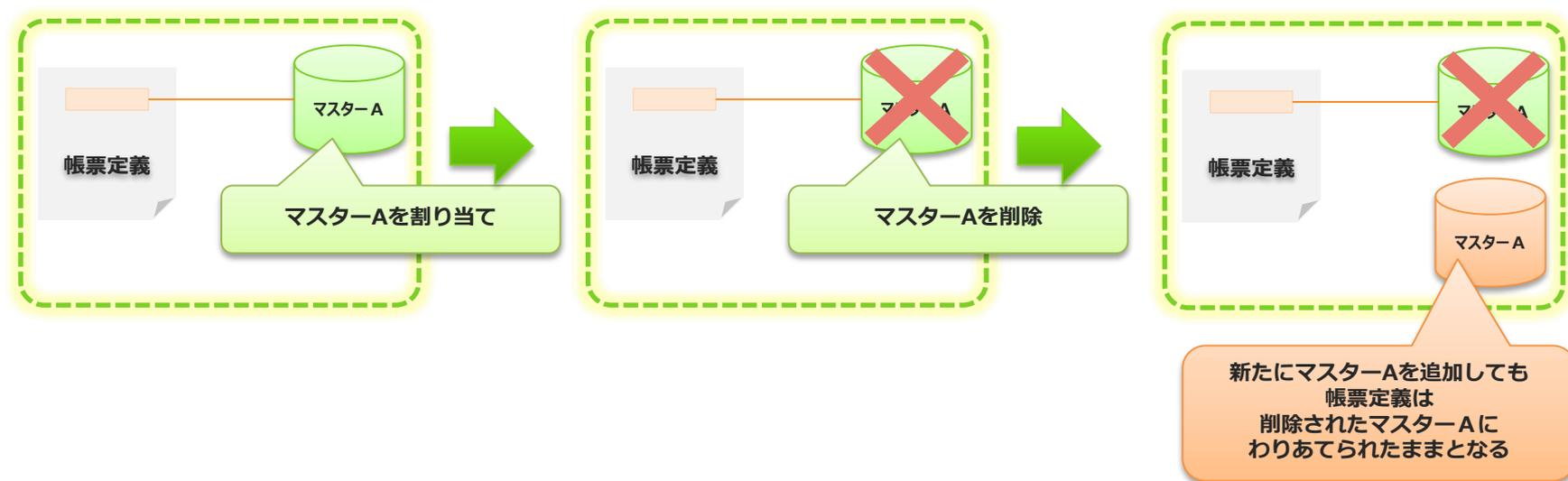
The screenshot shows the 'ConMas Manager' application interface. The top navigation bar includes '帳票定義', '入力帳票', 'データ出力', '自動帳票作成', 'ラベル管理', '図書管理', 'スケジュール', 'カスタムマスター', and 'システム管理'. The 'カスタムマスター' tab is active. The main area displays a table of custom masters with columns for ID, name, key, and other attributes. A green dashed box highlights the table, and a green callout box with the text '①削除したいカスタムマスターにチェック' points to the checked checkbox in the first row. Another green callout box with the text '②削除ボタンをクリックして削除' points to the trash icon in the top right corner of the table area. The interface also shows a sidebar with navigation options like 'すべて閉じる | すべて開く', 'ラベルなし', '郵便マスター', '参考', '顧客', and '商品'. The bottom left has buttons for 'ラベル作成' and 'ラベル削除'.

ID	カスタムマスター名称	カスタムマスターキー	タブレット保存可否	有効期限	操作
<input checked="" type="checkbox"/>	顧客マスター 顧客サンプル 顧客 参考	MST_CUSTOMER	可能		
<input type="checkbox"/>	郵便番号マスター 郵便12万 郵便マスター	MST_YUBIN_TABLE	可能 手動ダウンロード	2014/04/12 16:53	developer 2014/04/14 21:30 developer
<input type="checkbox"/>	社員マスター テスト用 参考	社員マスター	不可	2014/04/14 11:58	developer 2014/04/15 14:15 developer
<input type="checkbox"/>				2014/04/14 17:52	Administrator 2014/04/15 14:12 developer
<input checked="" type="checkbox"/>				2014/04/14 21:28	developer 2014/04/14 21:30 developer

⚠ カスタムマスター削除の注意点

カスタムマスターを削除後、同じマスターキーを設定してカスタムマスターの登録しても別のカスタムマスターとして扱います。

このため、既に帳票定義に割り当て済のカスタムマスターを削除しますと、Designerにて帳票定義の再設定が必要になりますのでご注意ください。



今後は、カスタムマスター削除後に同一のマスターキーが指定されれば、帳票定義の再割り当てが発生しなくなるよう対応する予定です。

Managerで カスタムマスター用のラベルを設定する

ラベル管理でのカスタムマスター用ラベルの設定

ラベル管理にてカスタムマスター用のラベルの登録が出来ます。

- ラベル管理をクリックしラベル管理画面を表示します。
- ラベル管理画面左のラベルツリーからカスタムマスターラベル／カスタムマスターをクリックします。
- ラベルを追加するには 画面右上の追加+ボタンをクリックします。
- 既存のラベルの下に新たなラベルを追加したい場合には、その既存のラベルを選択した状態で追加+ボタンをクリックします。何もラベルを選択していない場合には最上位の階層にラベルは登録されます。

ConMas Manager

ログイン中 : developer [ログアウト]
Version:4.0.4273

帳票定義 | 入力帳票 | データー出力 | 自動帳票作成 | **ラベル管理** | 図書管理 | スケジュール | カスタムマスター | システム管理

ラベル管理

- 定義
- 帳票
- 図書ラベル
- 共通ドキュメント
- 帳票別ドキュメント
- カスタムマスターラベル
- カスタムマスター**

カスタムマスター:ラベル一覧

▼ラベル

ツリー表示 | 一覧表示

すべて閉じる | すべて開く

郵便マスター

参考

顧客

商品

①ラベルを選択

②追加ボタン

ラベル作成

ラベル名称

備考

選択しているラベルと同階層に登録

選択しているラベルの下の階層に登録

選択したラベルと同階層に作成 | 選択したラベル配下に作成 | キャンセル

カスタムマスター用ラベルの編集

カスタムマスター用のラベルの各属性情報、グループ別権限情報を設定します。

- 編集対象のラベルを選択し、編集ボタンをクリックします。
- ラベルの編集画面を表示します。ラベルの編集画面では、▼ラベル情報、▼グループ別権限情報の2つを編集します。
- ▼ラベル情報において、ラベルの属性情報を入力します。

The screenshot shows the ConMas Manager application interface. The top navigation bar includes tabs for '帳票定義', '入力帳票', 'データ出力', '自動帳票作成', 'ラベル管理', '図書管理', 'スケジュール', 'カスタムマスター', and 'システム管理'. The 'ラベル管理' tab is active. The left sidebar shows a tree view with 'カスタムマスターラベル' expanded to 'カスタムマスター'. The main area displays 'カスタムマスター:ラベル一覧' with a list of labels. The '郵便マスター' label is selected, and the '編集ボタン' (Edit button) is clicked. This opens a detailed edit form for the label.

①ラベルを選択

②編集ボタン

③ラベルの情報を編集します。

▼ラベル情報	
ラベルID	1
ラベル名称	郵便マスター
親ラベル	▼
アイコン	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
備考	
表示順	1

カスタムマスター用ラベルの参照権限設定

ラベルに対してグループ別の参照権限を設定します。

- ▼グループ別権限情報において、グループ毎にラベルに対する参照可否を設定します。
※権限設定は個別に行わず全てのグループで常に参照可能なラベルは、権限設定なしをチェックします。

全てのグループで常に参照可能なドキュメントの場合にチェック

▼グループ別権限設定

権限設定なし
● チェック有：参照可能 チェック無：参照不可

ID	グループ名称	<input type="checkbox"/>
20	CIMTOPS	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
16	外部開発者グループ	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
17	外部開発者グループ/参照_作成_編集	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
18	外部開発者グループ/参照_作成_編集/参照_作成	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
19	外部開発者グループ/参照_作成_編集/参照_作成/参照	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
31	承認用	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
1	本社システム管理	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
3	本社システム管理/A管理グループ	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能

全てのグループにチェックマークを付ける

グループ毎に参照可否を設定

カスタムマスター一覧でのカスタムマスター用ラベルの設定

ラベル登録は、カスタムマスター一覧表示のツリーからも設定可能です。

- 既存のラベルの下に新たなラベルを追加したい場合には、カスタムマスター一覧画面左のラベルツリーにおいてその既存のラベルを選択した状態でツリー下部のラベル登録ボタンをクリックします。
- ラベル登録画面が表示されます。
- 何もラベルを選択していない場合には最上位の階層にラベルは登録されます。
- 既存のラベルを選択した状態でツリー下部のラベル削除ボタンをクリックするとそのラベルは削除されます。

ConMas Manager ログイン中 : developer [ログアウト] Version: 4.0.4273

帳票定義 | 入力帳票 | データー出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | 図書管理 | スケジュール | **カスタムマスター** | システム管理

すべて閉じる | すべて開く | CSV | 期限切れを表示しない | 表示件数 20 | 1 / 1

ID	カスタムマスター名称	カスタムマスターキー	タブレット保存可否	有効期限	登録日時	登録者	更新日時	更新者
13	V4.0インプ マスター V4.0インプ DB				2014/04/16 11:36	developer		
4	顧客マスタ 顧客サンプ				2014/04/16 11:36	developer		
3	商品マスタ 商品サンプ				2014/04/16 11:36	developer		
2	社員マスタ テスト用				2014/04/16 11:36	developer		

ラベル作成

ラベル名称

備考

選択したラベルと同階層に作成 | 選択したラベル配下に作成 | キャンセル

①ラベルを選択

②ラベル登録ボタン

ラベル作成

ラベル削除

選択しているラベルと同階層に登録

選択しているラベルの下の階層に登録

カスタムマスターにラベルをつける

ラベルづけは、カスタムマスター情報画面の編集画面で設定する事が出来ます。

- ラベルをつけたいカスタムマスターを一覧から選びチェックボックスチェックします。ラベルボタンをクリックすると、ラベル選択ダイアログボックスが表示されますので、ここでつけるラベルにチェックを入れ追加ボタンをクリックする事でカスタムマスターにラベルを付ける事が出来ます。

The screenshot shows the 'Custom Master Information' edit screen. A green dashed box highlights the '登録' (Register) button and the 'ラベル情報' (Label Information) section. A callout box points to the '登録' button with the text '②登録をクリックして確定' (Click Register to confirm). Another callout box points to the 'ラベル情報' section with the text '①このカスタムマスターにつけたいラベルにチェック' (Check the label you want to attach to this custom master). The 'ラベル情報' section contains a table with the following data:

	備考
<input type="checkbox"/> 郵便マスター	
<input checked="" type="checkbox"/> 参考	
<input checked="" type="checkbox"/> 参考/顧客	
<input type="checkbox"/> 参考/商品	

カスタムマスターにラベルをつける（一覧画面）

ラベルづけは、カスタムマスター一覧画面からでも設定可能です。

- ラベルをつけたいカスタムマスターを一覧から選びチェックボックスチェックします。ラベルボタンをクリックすると、ラベル選択ダイアログボックスが表示されますので、ここでつけるラベルにチェックを入れ追加ボタンをクリックする事でカスタムマスターにラベルを付ける事が出来ます。

ConMas Manager

帳票定義 | 入力帳票 | データ出力 | 自動帳票作成 | **ラベル管理** | 図書管理 | スケジュール | カスタムマスター

すべて閉じる | すべて開く

すべて
ラベルなし
郵便マスター
参考
顧客
商品

CSV

期限切れを表示しない

<input type="checkbox"/>	ID	カスタムマスター名称	カスタムマスターキー	タブレット保存可否	有効期限	登録日時
<input type="checkbox"/>	13	V4.0インプットサンプル V4.0インプットサンプル DB 顧客 商品 郵便マスター 参考	IRV4.0_SAMPLE	可能 手動ダウンロード 4503(分)	2015/01/31	2014/04/15 16:20
<input checked="" type="checkbox"/>	4	顧客マスター 顧客サンプル 顧客 参考	MST_CUSTOMER	可能		2014/04/14 18:16
<input type="checkbox"/>	3	商品マスター 商品サンプル 商品 参考	MST_ITEM	可能		2014/04/14 17:52
<input type="checkbox"/>	2			可		2014/04/14 11:58
<input type="checkbox"/>	14	テスト用マスター 商品サンプル	MST_TEST0001	不可		2014/04/14 22:33

ラベルを付ける:

郵便マスター
 参考
 参考/顧客
 参考/商品

追加 削除

①ラベルをつけたい
カスタムマスターにチェック

②ラベルボタンをクリック

③ラベルにチェック

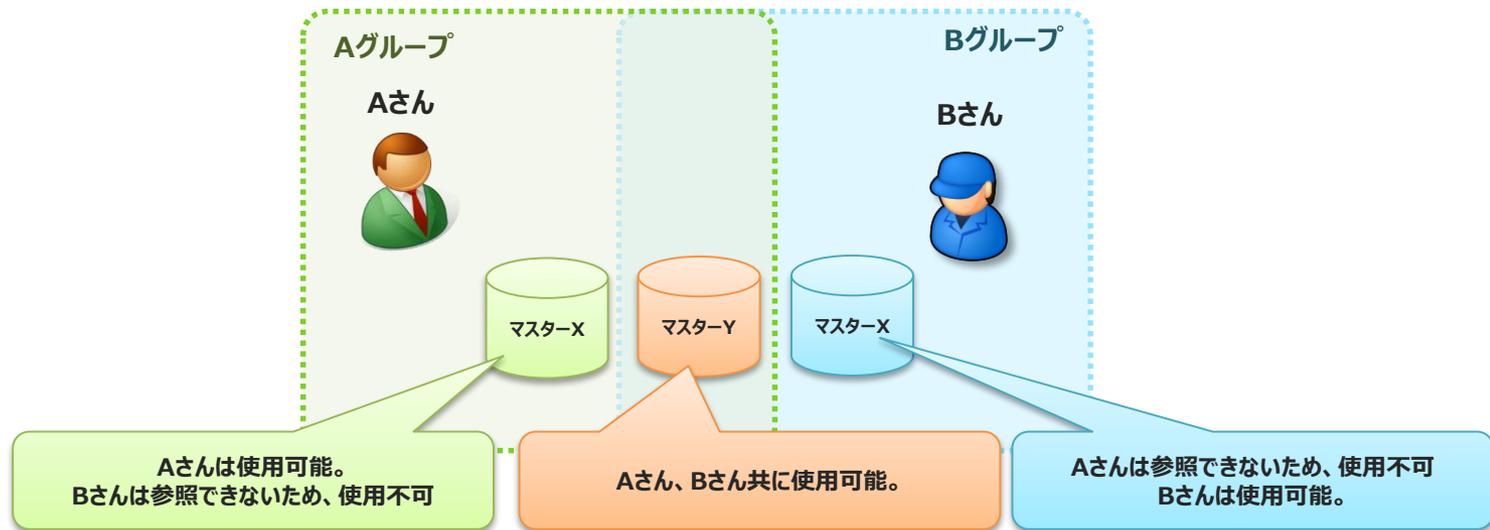
④追加クリックで
ラベルづけ

Managerで カスタムマスター参照権限を設定する

カスタムマスター参照権限

カスタムマスターごとにユーザーグループ参照権限設定を行えます。

- 「あるユーザーグループには使用させたい」、「あるユーザーグループには使用させたくない」場合は、本設定が有効です。
- 設定はユーザーグループごとに出来ます。このため、ユーザーはいずれかのグループに属しておく必要があります。



カスタムマスターの参照権限設定

カスタムマスターに対してグループ別の参照権限を設定します。
設定はカスタムマスター情報画面の編集画面で設定する事が出来ます。

- ▼グループ別権限情報において、グループ毎にカスタムマスターに対する参照可否を設定します。
※権限設定は個別に行わず全てのグループで常に参照可能なラベルは、権限設定なしをチェックします。

全てのグループで常に参照可能なドキュメントの場合にチェック

▼グループ別権限設定

権限設定なし
● チェック有：参照可能 チェック無：参照不可

グループID	グループ名称	
20	CIMTOPS	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
16	外部開発者グループ	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
17	外部開発者グループ/参照_作成_編集	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
18	外部開発者グループ/参照_作成_編集/参照_作成	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
19	外部開発者グループ/参照_作成_編集/参照_作成/参照	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
31	承認用	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
1	本社システム管理	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
3	本社システム管理/A管理グループ	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
5	本社システム管理/A管理グループ/第1現場管理	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
9	本社システム管理/A管理グループ/第1現場管理/作業1G	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能
10	本社システム管理/A管理グループ/第1現場管理/作業2G	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能

全てのグループにチェックマークを付ける

グループ毎に参照可否を設定

Managerで カスタムマスターのiPadへの ダウンロード履歴を参照する

iPadへのダウンロード履歴を参照

iPad本体のローカルストレージにカスタムマスターをダウンロードした履歴の参照

- iPad本体のローカルストレージにカスタムマスターをダウンロードしたかの履歴をサーバー側で取得しています。
- カスタムマスター別に、どのユーザーが、いつ、どのiPadに対して、ダウンロード保存したかをサーバー側で取得し管理することができ、どのiPadに、どのカスタムマスターが現在保存されているかがわかります。

①ダウンロード履歴を参照するカスタムマスターを選択表示し履歴参照をクリック

③合わせて検索条件を入力。何も設定しない場合には全件表示します。

④検索ボタンをクリック。

⑤ダウンロードした履歴を表示

ダウンロードした日
ダウンロードしたユーザーID
ダウンロードしたユーザー名称
ダウンロードした端末ID
ダウンロードした端末名称

履歴参照情報

▼カスタムマスター

▼検索条件

検索対象 ダウンロード履歴

操作日 ~

操作ユーザー：ID

操作ユーザー：名称

操作端末：ID

操作端末：名称

検索

▼検索結果

表示件数 20 1 / 1

操作日	操作ユーザー：ID	操作ユーザー：名称	操作端末：ID	操作端末：名称
2014/04/14 21:50:13	yoshida	developer	16	yoshidaPad
2014/04/14 21:48:15	user01	ユーザー 0 1	24	oidePad Mini
2014/04/14 21:46:16	yoshida	developer	140	iPadAirYoshida
2014/04/14 20:17:20	yoshida	developer	140	iPadAirYoshida
2014/04/14 19:09:22	yoshida	developer	140	iPadAirYoshida
2014/04/14 19:06:55	yoshida	developer	140	iPadAirYoshida
2014/04/14 18:05:52	yoshida	developer	140	iPadAirYoshida
2014/04/14 18:05:45	yoshida	developer	140	iPadAirYoshida